

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2023-12-01 No. 159

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) – 伝導妨害イミュニティ (2/3)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: WP.29: より安全でクリーンな車両を目指した 25 年間の協力	10
国際テーマ: ウクライナ、ディスプレイの欧州エネルギーラベリングとの整合を計画	12
国際テーマ: ガーナ、エネルギー要求事項を施行: EU のエネルギー効率要求事項と概ね同等	12
国際テーマ: 台湾、規制対象の電気電子製品リストを更新: 車載ビデオカメラ等	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
USA: FCC: KDB: 別の機器認可申請の試験データの参照を認める FCC のポリシーとは?	15
USA: FCC: KDB: 送信機モジュールデバイスの機器認可、及びそれを組み込んだ機器の認可 ..	15
USA: FCC: スマート機器のサイバーセキュリティラベリングプログラムを提案	16
USA: FCC: RF デバイスのラベリングと使用者情報にどんなガイダンスが利用できるか?	17
USA: FCC: 工学技術室等による 5.9 GHz 帯で C-V2X の運用を許可する免除命令	18
USA: CPSC: 更新された ASTM F963-23 規格の利用可能通知	19
USA: CPSC: テーブルソーの刃の接触による負傷に対処する安全基準	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	21
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: ISED: TB-1 — テレビ放送信号を受信できる機器の規制に関連する情報第 5 版が発行 ..	23
カナダ: ISED: 非常用位置指示無線標識 (EPIRB) 等の無線仕様 RSS-287 第 3 版意見募集	24
EU: 無線機器指令整合規格リストが更新: IMT セルラーネットワーク規格等	26
EU: 欧州委員会は欧州の風力発電産業を支援するための即時措置を講じる	26
UK: 無線機器に関する指定規格が更新	27
UK: 英国の製品安全の規制枠組みをよりスマートな規制へ: 意見募集	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	29
EU: ETSI: 新規格リスト	33
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	34
中国: CQC: 低電圧開閉装置の II 型自主性認証規格 GB/T 7251.12-2013 の規格格上げ通知	35
中国: CQC: スマート芝刈機の安全性及び電磁両立性認証業務の開始に関する通知	35
中国: CQC: 都市鉄道車両の電磁両立性および電磁放射線曝露の評価新版実施規則の施行	36
中国: CQC: モバイル電源の品質性能等級認証 (カテゴリ 001131) 業務開始に関する通知	37
中国: CQC: スマート家電音声対話性能認証業務開始に関する通知	37
中国: CQC: 視覚健康対応性認証—アクティブ発光式ディスプレイ機器の認証業務開始	37
中国: CQC: ディスプレイエネルギー効率認証の新版規格・実施規則の施行に関する通知	38
中国: 新規格リスト	39
台湾: BSMI: 「電気自動車用給電設備検定検査技術規範」の改正案告示	39
台湾: 新規格リスト	40
韓国: KATS: 電気用品安全基準 (227 種) 廃止告示	40
韓国: KS 新規格リスト	41
総務省: 令和 5 年度無線設備試買テスト中間報告 (第 1 次) の公表	42
総務省: 国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA-23) の結果	42
総務省: 広帯域無線 LAN 等の導入に向けた制度整備: IEEE 802.11be 等の導入	43
総務省: PLC 設置要件緩和及び IH 調理器型式確認対象拡大—電波法施行規則の一部を改正	44
総務省: 特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案: 意見募集の結果	44
経済産業省: 生成 AI 基盤モデルの開発支援に向けた公募を開始しました	45
経済産業省: 日本発のサービスロボットの安全な運用に関する国際規格が発行 (ISO 31101) ..	45
経済産業省: 事業用変圧器の新たな省エネ基準を策定しました	46
ちよつといつぷく〜小クイズコーナー 米国のサイバートラストマーク	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	47



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 電磁適合性 (EMC) - 伝導妨害イミュニティ (2/3)

- IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) - パート 4-6: 試験および測定技術 - 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に規格の概要も含め、解説する。
- 本第 5 版は、2013 年に発行された第 4 版を廃止し、置き換える。本版は技術的な改訂版である。本版は、以前の版に対して次の重要な技術的変更が含まれている。
 - a) 注入デバイスの選択を修正; b) クランプ注入の AE インピーダンス チェックの必要性が削除され、付録 H が削除された; c) 飽和チェックが改訂された; d) 複数の信号を使用した試験に関する新しい付属文書 H を追加; e) 試験信号発生器の設定方法の変更。

USA: FCC: スマート機器のサイバーセキュリティラベリングプログラムを提案

- 米国 FCC は、スマート機器の自主サイバーセキュリティラベリングプログラムを提案した。FCC が提案した IoT サイバーセキュリティラベルを付けたスマート機器または製品は、それらの機器に関する特定のサイバーセキュリティ基準を遵守しているとみなされる。
- 又、サイバーセキュリティラベリングプログラムによるスマート機器の証明マークを発表した。

USA: FCC: RF デバイスのラベリングと使用者情報にどんなガイダンスが利用できるか?

- 784748 D01 Labeling Part 15 & 18 Guidelines v09r01 に代わり、784748 D01 General labeling and notification v09r02 が発行された。変更点は、1) FCC ロゴのワークを入手するための説明が 2.5 項に追加、2) ウェブサイト上のワークと 47 CFR 2.1074 に示されているロゴのスタイル上の相違点を説明するため、注記 12 が追加、そして 3) その他一部軽微な文法上の編集。

EU: 無線機器指令整合規格リストが更新: IMT セルラーネットワーク規格等

- 無線機器指令の整合規格リストが更新された。IMT セルラーネットワーク規格、デジタルオーディオ放送(DAB)サービス、衛星地上局およびシステム(SIS)等規格に関して変更。

UK: 英国の製品安全の規制枠組みをよりスマートな規制へ: 意見募集

- 商務貿易省および製品安全基準局から意見募集。本意見募集は終了: 製品の安全性に対する長期的なアプローチと、規制の枠組みを将来に適合させる方法について意見が募集されていた。現在国民からのフィードバックを、分析中である。
- 政府は企業の義務の大きさが製品によってもたらされる危険に比例していることを確認し、リスクの低い製品のコンプライアンスコストを削減し、可能な限り適合性評価プロセスを容易にする方法を検討する。

総務省: 広帯域無線 LAN 等の導入に向けた制度整備: IEEE 802.11be 等の導入

- 電波法施行規則等の一部を改正する省令案等に関する意見募集の結果及び電波監理審議会からの答申(諮問第 31 号に対するもの) — 広帯域無線 LAN 等の導入に向けた制度整備 —
- 今般、情報通信審議会による一部答申(諮問第 2009 号に対するもの)を踏まえ、広帯域無線 LAN の導入、6 GHz 帯 LPI 子局間通信、5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の見直し等に関する規定の整備を行うため、電波法施行規則等の一部を改正する省令案等を作成し、意見募集を実施しました。総務省は、今後、意見募集の結果及び電波監理審議会からの答申を踏まえ、速やかに関係規定の整備を行う予定です。

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-6 第 5.0 版 電磁適合性 (EMC) – 伝導妨害イミュニティ (2/3)



Summary

IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) – パート 4-6: 試験および測定技術 – 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に、規格の概要も含め、解説する。

6.2 結合および減結合デバイス

6.2.1 一般

試験の再現性と AE の保護の理由から、好ましい結合および減結合デバイスは、CDN であると規定。但し、CDN 以外の他の注入方法が使用できる場合の例示として、「CDN の減衰が EUT の意図的な動作に悪影響を与える場合」が追加された。

6.2.2 結合および減結合回路網 (CDN)

これらの回路網は、1 つのボックス内の結合回路と減結合回路から構成される。CDN の選択に関するガイダンスが整理され、提示された。

6.4 試験信号発生器の設定

試験信号レベル設定には 従来 2 つの手順が使用出来るとしていたが、前者の方法(アンプの出力電力の測定)のみで行うことに変更。又、従来の設定方法手順は相当変更され、新たに「試験所は、増幅器が飽和していないことを確認すること。今回新たに規定された方法で実証する必要があること」と明記された。

7 試験のセットアップと注入方法

7.3 複数のユニットからなる EUT

この場合、推薦方式と代替方式で試験ができる。推薦方式では、各サブユニットを一つの EUT として扱い別々に試験する。

7.6 クランプ注入の適用

本項は全テキストが新設された。クランプ注入により妨害信号を注入する場合の手順を規定する。

8 試験手順

周波数が段階的に掃引される場合、ステップ サイズは前の周波数値の 1 % を超えてはならない。これに加えて今回、「潜在的に敏感な周波数を試験する必要がある」が加わった。又、試験時間を短縮するために、単一の滞留時間中に複数の周波数を同時に適用すること (複数信号により試験) が許容され、その手順が規定された。付属文書 H に詳細有。

9 試験結果の評価

新規格では、**推奨される分類を**、規格制作に係わる委員会によって、性能基準 performance criteria を策定する際のガイドとして使用するとした。試験結果は製造業者の仕様書などの随伴文書から導き出される性能レベルと比較して、EUT の機能損失または性能低下の観点から分類される。

10 試験報告書

「試験レポートに含めるべきものとして、EUT 機器のソフトウェアの同定、試験機器のソフトウェアの同定、随伴文書によって指定された性能レベル等が追加された。

IEC 61000-4-6 第 5.0 版 2023-06 「電磁適合性 (EMC) – パート 4-6: 試験および測定技術 – 無線周波数界によって引き起こされる伝導妨害に対するイミュニティ」が 2023-06 付けで発行された。おもな改訂点を中心に、規格の概要も含め、解説する。

(以下解説文で、ローマン体 (立体) は規格本体のテキストそのものであり、斜体は編集人によるテキストである)

前号では下記枠内項目迄報告しました

6 試験機器とレベル調整手順



株式会社コスモス・コーポレーション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

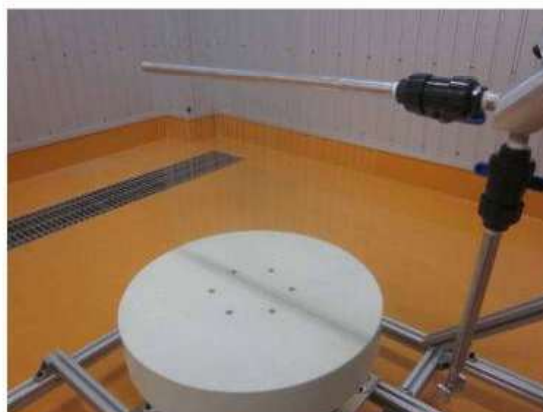
評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験 R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験 S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

社長の独り言

2023 年 11 月 19 日

濱口 慶一

この秋は異常気象のせいで夏なのかと思うような日もあった中、最近は一気に冬模様となりました。コロナ禍も終結しませんし、インフルエンザも猛威を奮ってきていますが、皆様にはお元気にご活躍されていることと存じます。

今回は、未曾有の円安が進む中で、外国の製品安全認証の取得や製品安全評価を受ける際のコストの削減の観点から、提案させていただきます。円安に関してですが、1ドル=120円の頃から現在は1ドル=150円のレートとなっており、約30円も日本円の価値が下がったことになります。もちろん、日本の製品を輸出した場合は外国では購買しやすくなるわけですが、外国の製品安全認証・評価サービスを受ける場合、認証・評価費を現地通貨で支払うと1ドル=120円の頃に比べて約25%の上昇になります。しかし、IECEE CB スキームにおける日本の国内認証機関(NCB)で、日本円で決済できる NCB の CB 証明を受ければ、少なくとも為替変動によるリスクを回避できるのではないのでしょうか。ぜひご検討ください。

手前味噌になり恐縮ですが、弊社の製品安全業界での認知度が上がってきたように思います。特にお客様の製品の最終ユーザからも製品事故に関するお問い合わせが多く来るようになりました。万に一つ、お客様の製品で製造物責任上の事故が生じて、弊社が関わった業務については認証機関として可能な限り必要な対応を行います。しかし、公平性を担保するため、お客様（製造者）側にも最終ユーザ側にも等しい距離を保つことが求められます。また、最終ユーザや損害保険会社などからの事故原因の調査依頼があった場合、“利益の相反”となる可能性があるために製造者（あるいは電気用品安全法上の輸入事業者）から委任状を提出していただいた上で事故調査業務などを受託することになりますのでご了承をお願いいたします。ここでお客様に提案ですが、製品安全評価依頼の際、弊社も含めての2社購買をご検討ください。弊社が創業してから37年間、弊社の関わった製品での製造物責任法での訴訟が生じた製品は皆無です。

さて趣味の日本蜜蜂ですが、3cm 目のネットで防御した効果もあったのか、なんとか秋の大雀蜂の襲来にも耐えることができたようです。2群が元気で、秋に咲いた花の蜜を集めに出て行っています。知り合いからは、蜜をいつ採集するのかと催促されるのですが、朝早くから遅くまで、巣門から元気に出ていく働き蜂を見ているだけで自分が元気になれば、観察だけの毎日で十分楽しんでます。プロの養蜂家からは蜜を取らないと逃げていきますよとアドバイスされましたが、実際に逃げられてもなぜか、小さな体をフルに使って集めた蜜を横取りするような気分にはなれません。それを私の仕事への姿勢と重ねて観ていただければ嬉しく思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2023-12-01 (No. 159)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2023 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。